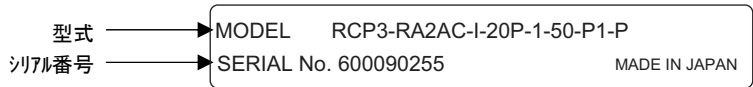


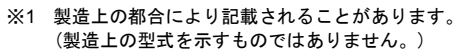
本製品は、標準構成の場合、以下の部品で構成されています。  
万が一、型式間違いや不足のものがありましたら、お手数ですが、販売店または当社までご連絡ください。

番号	品 名	型 式	備考
1	7ケチュータ本体	型式銘板の見方、型式の見方参照	
付属品			
2	モータ・エンコーダ <sup>①</sup> ケーブル <sup>※1</sup>		
3	ファーストステップ <sup>②</sup> ガイド		
4	取扱説明書 (CD/DVD)		
5	安全ガイド		

## 2. 型式銘板の見方



### 3.1 RCP3 アクチエ-タ



[仕様の詳細は、**カタログ** または取扱説明書 (CD/DVD) 参照]

**RCA2-RN3N-I-10-4-30-A1-P-FL-\*\***

```

graph TD
    Root["RCA2-RN3N-I-10-4-30-A1-P-FL-**"] --> S1["<シリーズ>"]
    Root --> S2["<タイプ>"]
    
    S1 --- L1["[細小型味<リング>]  
スリム型  
(モータレス<リング>タイプ)  
RA2AC  
(モータ折返しタイプ)  
RA2AR  
全長ショート型  
(ナット固定取付タイプ)  
RN3NA、RN4NA  
RN3N、RN4N  
全長ショート型  
(タップ穴取付タイプ)  
RP3NA、RP4NA  
RP3N、RP4N  
シンク脇<イト>型  
GS3NA、GS4NA  
GS3N、GS4N  
ダブ<脇>イト型  
GD3NA、GD4NA  
GD3N、GD4N  
スライド<エント>型  
SD3NA、SD4NA  
SD3N、SD4N"]
    
    S2 --> L2["<エンコーダ種類>  
I : インクリメンタル"]
    S2 --> L3["<モータ種類>  
5(5W) : RA2AC、RA2AR  
10(10W) : RN3NA、RP3NA、GS3NA、GD3NA、SD3NA  
          RN3N、RP3N、GS3N、GD3N、SD3N  
20(20W) : RP4NA、RP4NA、GS4NA、GD4NA、SD4NA  
          RN4N、RP4N、GS4N、GD4N、SD4N"]
    S2 --> L4["<リターン>  
RN3NA、RP3NA、GS3NA、GD3NA、SD3NA  
RN3N、RP3N、GS3N、GD3N、SD3N(すべり&#2217;)  
1S/2S/4S  
RN3NA、RP3NA、GS3NA、GD3NA、SD3NA  
RN3N、RP3N、GS3N、GD3N、SD3N(ホー&#2217;ル&#2217;)  
1/2/4  
RN4NA、RP4NA、GS4NA、GD4NA、SD4NA  
RN4N、RP4N、GS4N、GD4N、SD4N(すべり&#2217;)  
2S/4S/6S  
RN4NA、RP4NA、GS4NA、GD4NA、SD4NA  
RN4N、RP4N、GS4N、GD4N、SD4N(ホー&#2217;ル&#2217;)  
2/4/6"]
    S2 --> L5["<ケープ<長>>  
N : 無し  
P : 1m  
S : 3m  
M : 5m  
X□□ : 長さ指定"]
    S2 --> L6["<適応コントローラ>  
A1 : ASEL  
      ACON-C/CG  
      ACON-CY  
      ACON-SE  
      ACON-PL/PO  
A3 : AMEC、ASEP"]
    S2 --> L7["<ストローク>  
K2 : コネクタへの取出方向変更  
LA : 省電力対応"]
    
```

当社の識別記号※1

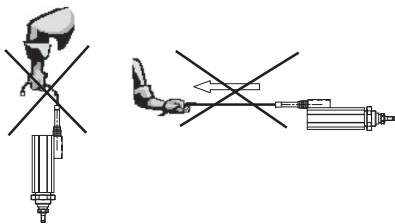
[仕様の詳細は、カタログ<sup>※</sup>または取扱説明書(CD/DVD)参照]

製品の破損の原因となりますので、以下の内容には十分注意をしてお取扱いください。

ぶつけたり落下をさせたりしないよう運搬取扱いは十分な注意をしてください。

- 梱包状態では水平状態で置いてください。
- 梱包の上に乗らないでください。
- 梱包が変形するような重い物を載せないでください。

アクチュエータは、ケーブルを持って運搬したり、ケーブルを引張って移動したりしないようにしてください。



- 7インチを梱包から出して取り扱うときは、<sup>+</sup>部分を持ってください。
- 持ち運びの際また、取付けの際、ぶつけたり落としたりしないよう十分に注意してください。
- 7インチの各部に無理な力を加えないでください。

## 1. 設置環境

一般には作業者が保護具なしで作業できる環境です。

- 直射日光が当たらないこと。
- 熱処理炉等、大きな熱源からの輻射熱が機械本体に加わらないこと。
- 周囲温度は 0～40℃。
- 相対湿度 85%以下。結露のないこと。
- 腐食性ガス、可燃性ガスのないこと。
- 通常の組立作業環境であり、塵埃が多くないこと。(RA2A□、RA2B□は塵埃が浮遊する環境で使用した場合は寿命が著しく低下します。)
- 油、切削液がかからないこと。
- 薬品性の液体がかからないこと。
- 衝撃や振動が伝わらないこと。
- 甚だしい電磁波、紫外線、放射線がないこと。
- 保守点検に必要な作業スペースを確保すること。

保管・保存環境は設置環境に準じますが、長期保管・保存では特に結露の発生がないよう配慮ください。特にご指定のない限り、出荷時には水分吸収剤は同梱してありません。結露が予想される環境での保管・保存の場合、梱包の外側から全体を、あるいは開梱して直接、結露防止処置を施してください。

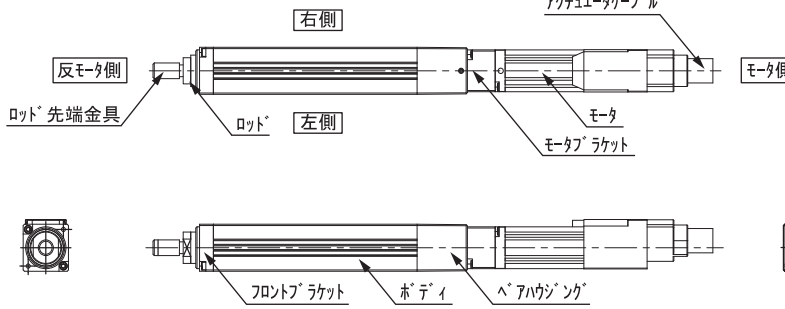
保管・保存温度は1ヶ月以内なら60℃まで耐えますが、それ以上の保管・保存の場合は50℃までとしてください。

## 1. モータユニット型

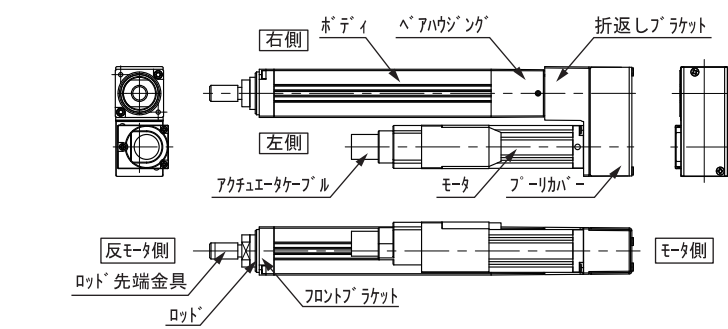
Diagram illustrating the components of the Rott® motor unit assembly:

- 右側 (Right side)
- 左側 (Left side)
- 反モータ側 (Opposite motor side)
- モータ側 (Motor side)
- モータユニット (Motor unit)
- ブレーキ付モータユニット (Motor unit with brake)
- ロッド 先端金具 (Rod front fitting)
- ロッド (Rod)

## 2.1 モータカップ° リング° タイフ° RCA2-RA2AC



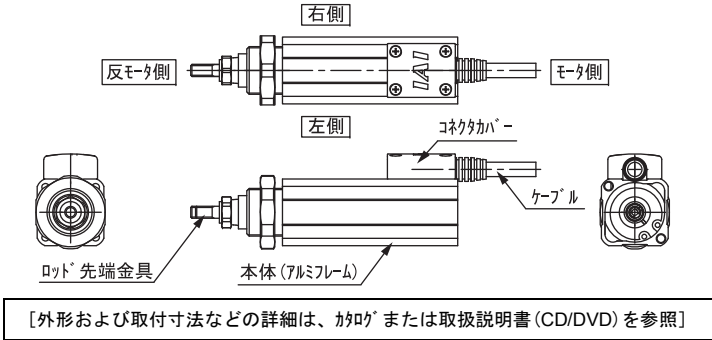
## 2.2 モータ折返しタイ° RCA2-RA2AR



3. 全長ショート型

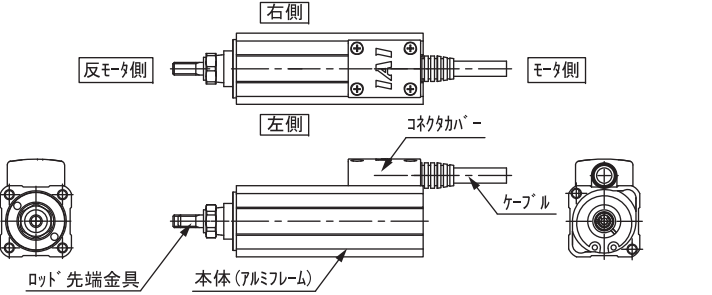
3.1 ナット固定取付けタイプ

RCA2-RN3NA、RN3N(すべり衽、ボール衽)、RN4NA、RN4N(すべり衽、ボール衽)



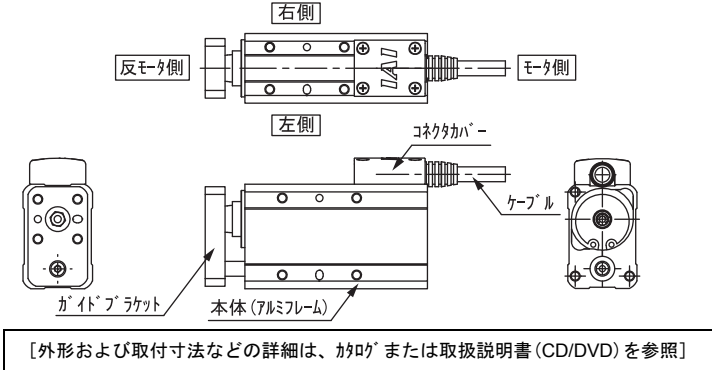
3.2 ヲツ穴取付けタイプ

RCA2-RP3NA、RP3N(すべり衽、ボール衽)、RP4NA、RP4N(すべり衽、ボール衽)



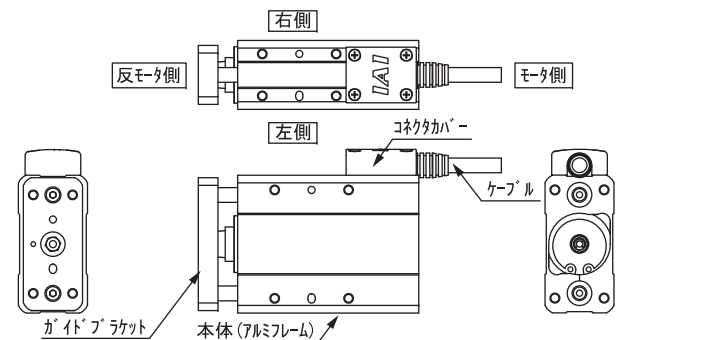
3.3 シンクルガイド型

RCA2-GS3NA、GS3N(すべり衽、ボール衽)、GS4NA、GS4N(すべり衽、ボール衽)



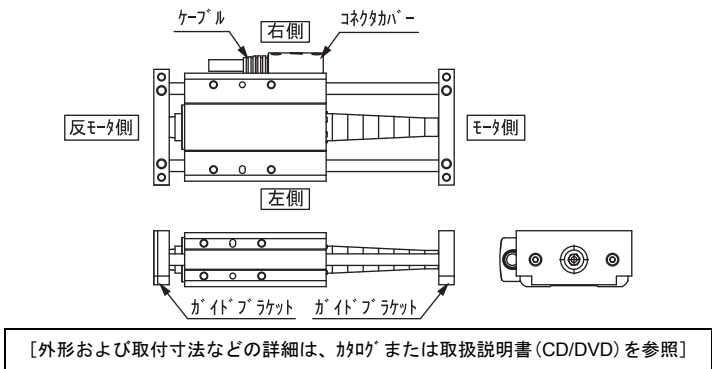
3.4 ダブルガイド型

RCA2-GD3NA、GD3N(すべり衽、ボール衽)、GD4NA、GD4N(すべり衽、ボール衽)



3.5 スライドユニット型

RCA2-SD3NA、SD3N(すべり衽、ボール衽)、SD4NA、SD4N(すべり衽、ボール衽)



取付け

1. モータユニット型

RCP3-RA2AC、RA2BC、RA2AR、RA2BR

1.1 取付け

本体を取付ける面は機械加工面か、それに準じる精度を持つ平面にしてください。

[1] 本体の取付け

本アクチュエータは裏面から固定できるように取付け用のツヅが設けてあります。  
(機種によってツヅサイズは異なりますので注意してください。取扱説明書 (CD/DVD) の外形寸法図参照  
います。)  
また、位置決めピン用リマ穴も設けてあります。

ツヅサイズおよび 最大ねじ込み深さ	使用ボルト	締付けトルク		リマ穴 (mm)
		ベース着座面が銅の場合	ベース着座面がアルミの場合	
M3 深さ 5	M3	1.54N・m (0.16kgf・m)	0.83N・m (0.085kgf・m)	φ2H7 ベース面より深さ 3

締付けねじについて

- ・ベース取付け雄ネジは六角穴付きボルトを使用してください。
- ・使用ボルトは ISO-10.9 以上の高強度ボルトを推奨します。
- ・ボルトと雌ネジの有効噛み合い長さは次の値以上を確保してください。
- ・雌ネジが銅の場合→呼び径と同じ長さ
- ・雌ネジがアルミの場合→最大ねじ込み深さ

⚠ 注意：ボルト長の選定には注意してください。不適切な長さのボルトを使用した場合、ツヅ穴の破損や  
アクチュエータの取付け強度不足、駆動部との干渉となり、精度の低下や思わぬ事故の原因となりま  
す。

[2] 取付け面

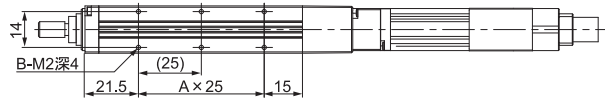
- ・架台は十分な剛性を有する構造とし、振動発生を避けてください。
- ・アクチュエータ取付け面は機械加工、又はそれに準じた精度を持つ平面とし、取付面の平面度は±0.05mm/m  
以内としてください。
- ・保守作業が出来るようなスペースを設けてください。

2. スリム型

RCA2-RA2AC、RA2AR

2.1 取付け

ボディ裏面には、取付け用のツヅ穴と位置決め用リマ穴が設けてあります。それらの位置を下の図に示し  
ます。  
(カップリングタイプ、折返しタイプ 共通)



ST	L1	L2	A	B	重量
25	163.5	81.5	1	4	170
50	188.5	106.5	2	6	185
75	213.5	131.5	3	8	200
100	238.5	156.5	4	10	215

締付けねじについて

推奨締め付けトルクは以下の通りです。

使用ボルト	締付けトルク	
	ボルト着座面が銅の場合	ボルト着座面がアルミの場合
M2	0.42N・m (0.043kgf・m)	0.25N・m (0.026kgf・m)

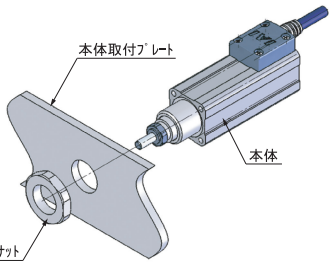
3. 全長ショートタイプ ナット固定取付けタイプ

RN3NA、RN3N(すべり衽、ボール衽)、RN4NA、RN4N(すべり衽、ボール衽)

3.1 本体の取付け

本体を 5~10mm 程度の平滑なプレートの貫通穴にはめ込んで取付けます。

- ・本体ロッドのナットを使用して、本体取付けプレートに取付けてください。
- ・本体の雄ネジ部の根元は、公差 h8 ですのでインローとしてご利用ください。



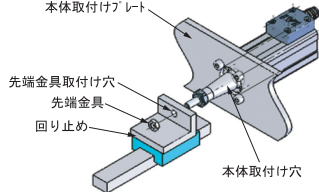
タイプ	M	2 面幅	最大締付けトルク
RN3NA、RN3N(すべり衽、ボール衽)	M20×1.0	29	49.4
RN4NA、RN4N(すべり衽、ボール衽)	M24×1.0	32	76.8

⚠ 注意：最大締付けトルク以上のトルクで締付けしないでください。アクチュエータが破損する場合があります。

3.2 回り止めの取付け

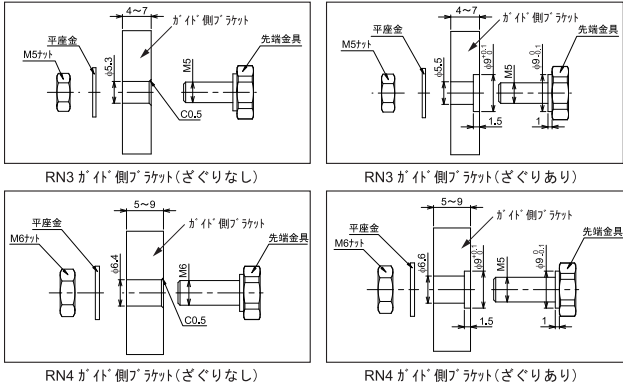
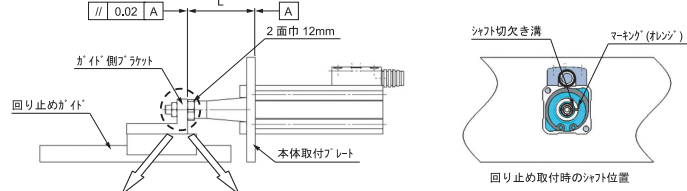
全長ショートタイプ (ナット固定取付けタイプ) のロッドは、回り止めがありません。

ガイドなしの RN3NA、RN3N(すべり衽、ボール衽)、RN4NA、RN4N(すべり衽、ボール衽)は、下の図  
を参考にし、必要に応じて回り止めを取り付けてください。



【回り止め取付け方法及び注意点】

- ① 本体取付けプレートの本体取付け穴とガイド側ブラケットの先端金具取付け穴の同軸度は、0.05 以内にしてく  
ださい。また、平行度は、0.02 以内にしてください。
- ② ロッド先端金具を手で回し、ねじ軸前に出してください。
- ③ ロッド先端金具をガイド側に固定してください。固定する際は、L 寸法が出ていることを確認し、背面  
側のマーキングシールとシャフト切欠け溝を一致させてください。  
この状態で先端金具の 2 面巾部をスナ等で押えて、ガイド側ブラケットを固定してください。



先端金具の締付けトルク	
タイプ	締付けトルク
RN3NA、RN3N (すべり衽、ボール衽)	3.1N・m
RN4NA、RN4N (すべり衽、ボール衽)	5.2N・m

タイプ	リード	ガイド側ブラケット	L
RN3NA、RN3N(すべり衽、ボール衽)	1	ざぐりなし	25.0±0.1
		ざぐりあり	24.0±0.1
	2、4	ざぐりなし	25.3±0.1
		ざぐりあり	24.3±0.1
RN4NA、RN4N(すべり衽、ボール衽)	1	ざぐりなし	27.0±0.1
	2、4、6	ざぐりあり	26.0±0.1
		ざぐりなし	27.3±0.1

⚠ 注意：フーティングジョイント類を用いてアクチュエータ本体の回り止めを連結しないでください。  
ネジ軸に偏芯によるラジアル荷重が加わり、アクチュエータの誤動作や早期の破損となります。

3.3 フランジの取付け

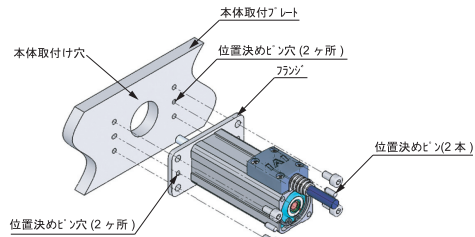
フランジ形状の板をご用意いただき、背面から本体を取り付けます。

- ・本体ロッドのナットを使用して、フランジに取り付けてください。
- ・フランジと本体取付けプレートをネジ止めしてください。

位置決めが必要な場合は、位置決めピンを挿入してください。

(注) 本体取付けプレートの本体取付け穴は、ナットを逃がすため、ナット寸法より大きい穴を開けてください。

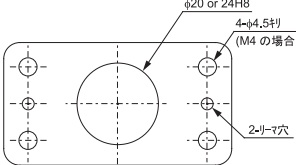
タイプ	L
RN3NA、RN3N(すべり衽、ボール衽)	φ34
RN4NA、RN4N(すべり衽、ボール衽)	φ30.8



アクチュエータ本体とフランジの取付け

タイプ	M	2 面幅	最大締付けトルク
RN3NA、RN3N(すべり衽、ボール衽)	M20×1.0	29	49.4
RN4NA、RN4N(すべり衽、ボール衽)	M24×1.0	32	76.8

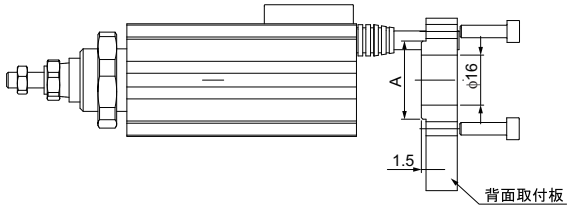
(フランジの参考図)





3.4 後面側からの取付け

後面側から取付ける場合、図のような円柱が少し飛び出た形状の背面取付け板をご用意いただければ、位置決めが容易となります。



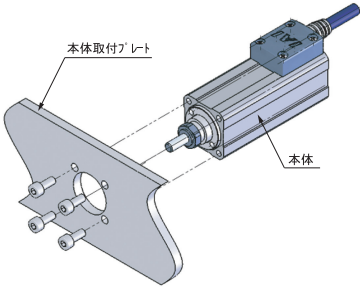
	RN3 (すべりねじ、ボールねじ)	RN4 (すべりねじ、ボールねじ)
A	φ25 -0.2 -0.3	φ30 -0.2 -0.3

4. 全長ショートタイプ タップ穴取付けタイプ

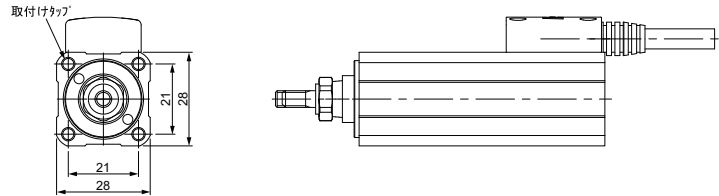
RP3NA、RP3N(すべりねじ、ボールねじ)、RP4NA、RP4N(すべりねじ、ボールねじ)

4.1 本体の取付け

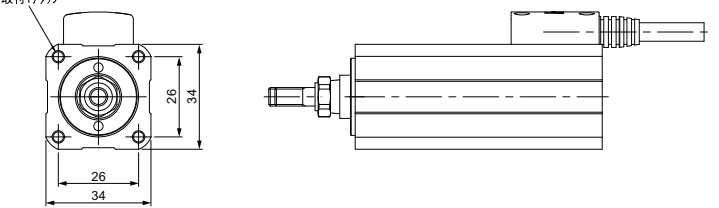
本体を 5～10mm 程度の平滑なプレート貫通穴にはめ込んで取り付けます。  
・本体タップ穴を使用して、本体取付けプレートに取り付けてください。  
・本体の雄ねじ部の根元は、公差 h8 ですのでインローとしてご利用ください。



●RP3NA、RP3N(すべりねじ、ボールねじ)



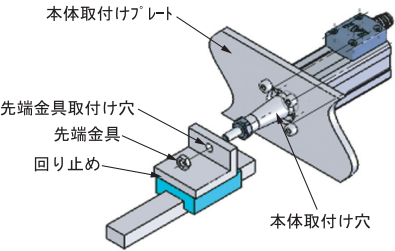
●RP4NA、RP4N(すべりねじ、ボールねじ)



タイプ	タップ穴サイズ	締付けトルク	
		プレートが鋼材の場合	プレートがアルミ材の場合
RP3NA、RP3N(すべりねじ、ボールねじ) RP4NA、RP4N(すべりねじ、ボールねじ)	M4 深さ 8	3.6N・m	1.8N・m

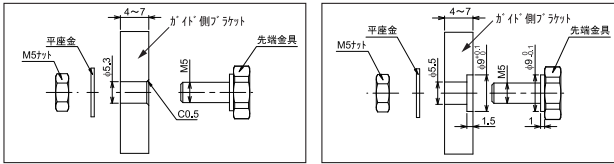
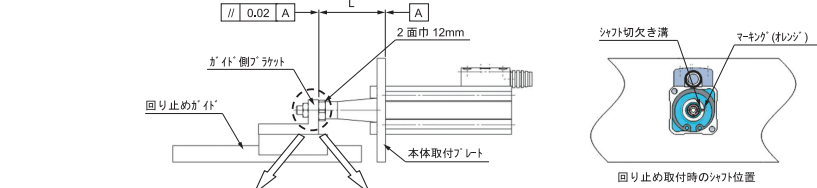
4.2 回り止めの取付け

全長ショートタイプ(ナット固定取付けタイプ)のロッドは、回り止めがありません。  
ガイドなしの RP3NA、RP3N(すべりねじ、ボールねじ)、RP4NA、RP4N(すべりねじ、ボールねじ)は、必要に応じて回り止めをご用意して頂き、下の図を参考にし、取付けてください。

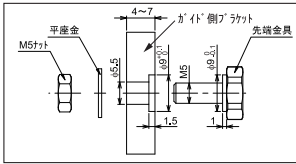


【回り止め取付け方法及び注意点】

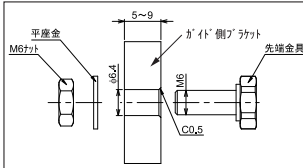
- ① 本体取付けプレートの本体取付け穴とガイド側ラケットの先端金具取付け穴の同軸度は、0.05 以内にしてください。また、平行度は、0.02 以内にしてください。
- ② ロッド先端金具を手で回し、ねじ軸を前に出してください。
- ③ ロッド先端金具をガイド側に固定してください。固定する際は、L寸法が出ていることを確認し、背面側のマッキングシールとシャフト切欠け溝を一致させてください。  
この状態で先端金具の 2 面巾部を M4 等で押えて、ガイド側ラケットを固定してください。



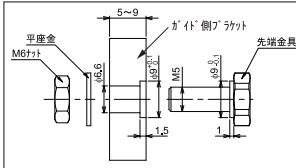
RP3 ガイド側ラケット(ざぐりなし)



RP3 ガイド側ラケット(ざぐりあり)



RP4 ガイド側ラケット(ざぐりなし)



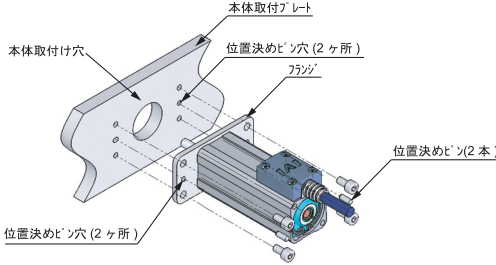
RP4 ガイド側ラケット(ざぐりあり)

タイプ	リード	ガイド側ラケット	L
RP3NA、RP3N(すべりねじ、ボールねじ) RP4NA、RP4N(すべりねじ、ボールねじ)	1	ざぐりなし	11.5±0.1mm
		ざぐりあり	10.5±0.1mm
RP3NA、RP3N(すべりねじ、ボールねじ) RP4NA、RP4N(すべりねじ、ボールねじ)	2、4、6	ざぐりなし	11.8±0.1mm
		ざぐりあり	10.8±0.1mm

⚠ 注意：ローテティングジョイント類を用いてアクチュエータ本体の回り止めを連結しないでください。  
ねじ軸に偏芯によるラジアル荷重が加わり、アクチュエータの誤動作や早期の破損となります。

4.3 フランジの取付け

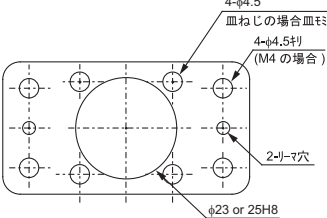
フランジ形状の板をご用意いただき、背面から本体を取り付けます。  
・本体のタップ穴を使用して、M4 皿ネジでフランジに取り付けてください。  
・フランジと本体取付けプレートをねじ止めしてください。  
位置決めが必要な場合は、位置決めピンを挿入してください。



アクチュエータ本体とフランジの取付け

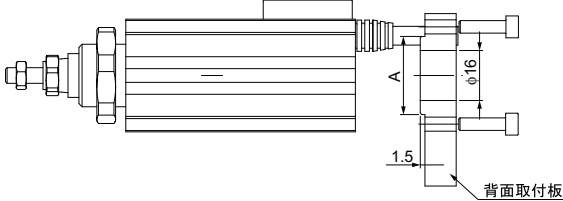
タイプ	タップ穴サイズ	締付けトルク	
		フランジが鋼材の場合	フランジがアルミ材の場合
RP3NA、RP3N(すべりねじ、ボールねじ) RP4NA、RP4N(すべりねじ、ボールねじ)	M4 深さ 8	3.6N・m	1.8N・m

(フランジの参考図)



4.4 後面側からの取付け

後面側から取付ける場合、図のような円柱が少し飛び出た形状の背面取付け板をご用意いただければ、位置決めが容易となります。



	RP3 (すべりねじ、ボールねじ)	RP4 (すべりねじ、ボールねじ)
A	φ25 -0.2 -0.3	φ30 -0.2 -0.3

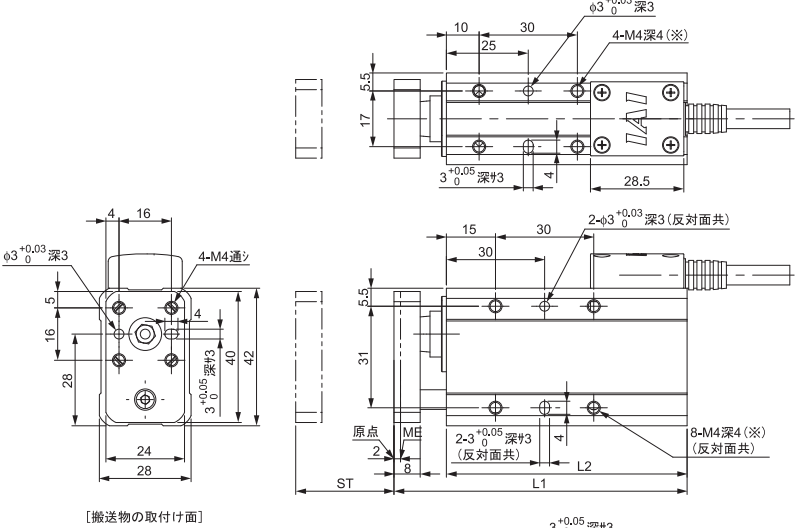
5. シングルガイド型

GS3NA、GS3N(すべりねじ、ボールねじ)、GS4NA、GS4N(すべりねじ、ボールねじ)

本体を取り付ける面は、機械加工面か、それに準じる精度を持つ平面にしてください。

- ・機種及び取付け面によりねじ有効深さが異なりますので図を参考に使用ねじの長さを決定してください。
- ・各取付け面には、位置決めピン用の円穴、長穴を設けております。必要に応じて使用してください。

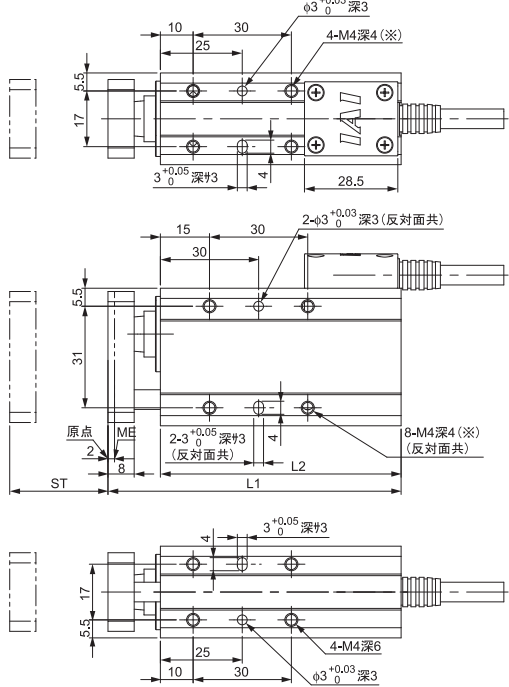
●GS3NA、GS3N(すべりねじ、ボールねじ)  
本体の 4 面が取り付け固定可能な構造となっています。搬送物の取付け面は 1 面です。



[搬送物の取付け面]

ST	L1	L2
30	89.5	73.5
50	109.5	93.5

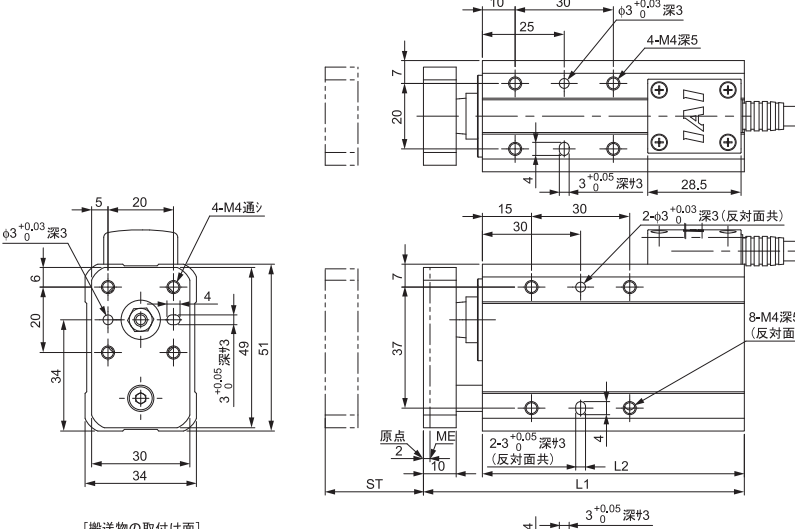
(注) すべりねじ、GS3Nタイプは、ストローク30だけです。



⚠ 注意：取付け部タップ穴は部分的に貫通穴となっております。ねじ有効長さ以上となる長いねじは絶対に使用しないでください。  
内部機構、電気部品を損傷する可能性があります。

●GS4NA、GS4N(すべりねじ、ボールねじ)

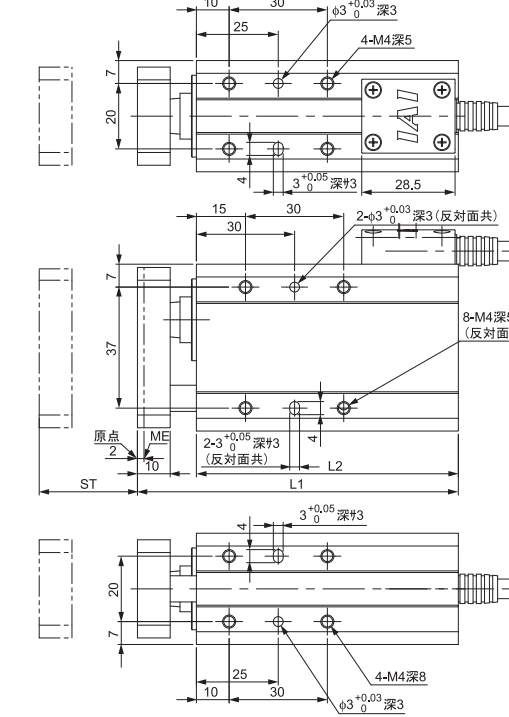
本体の 4 面が取り付け固定可能な構造となっています。搬送物の取付け面は 1 面です。



[搬送物の取付け面]

ST	L1	L2
30	98	80
50	118	100

(注) すべりねじ、GS4Nタイプは、ストローク30だけです。

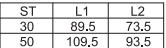


⚠ 注意：取付け部タップ穴は部分的に貫通穴となっております。ねじ有効長さ以上となる長いねじは絶対に使用しないでください。  
内部機構、電気部品を損傷する可能性があります。

GD3NA、GD3N(すべリネジ<sup>®</sup>、ホ<sup>®</sup>-ルネジ<sup>®</sup>)、GD4NA、GD4N(すべリネジ<sup>®</sup>、ホ<sup>®</sup>-ルネジ<sup>®</sup>)

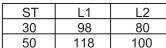
- ・機種及び取付け面によりねじ有効深さが異なりますので図を参考に使用ねじの長さを決定してください。
- ・各取付け面には、位置決め用の円穴、長穴を設けております。必要に応じて使用してください。

本体の4面が取り付け固定可能な構造となっています。搬送物の取付け面は1面です。



●GD4NA、GD4N(すべりネジ、ホールネジ)

本体の 4 面が取り付け固定可能な構造となっています。搬送物の取付け面は 1 面です。



## SD3NA、SD3N(すべりネジ、ボールネジ)、SD4NA、SD4N(すべりネジ、ボールネジ)

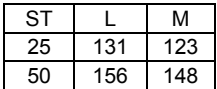
- ・機種及び取付け面によりねじ有効深さが異なりますので図を参考に使用ねじの長さを決定してください。
- ・各取付け面には、位置決め用の穴、長穴を設けております。必要に応じて使用してください。

スライドユニット型の取り付けは、本体を設置する方法とガイドブラケットを設置する方法の二つがあります。

### 【本体を設置する方法】

●SD3NA、SD3N(すべリネジ、ホ-ルネジ)

本体は、3面が取り付け固定可能な構造となっています。

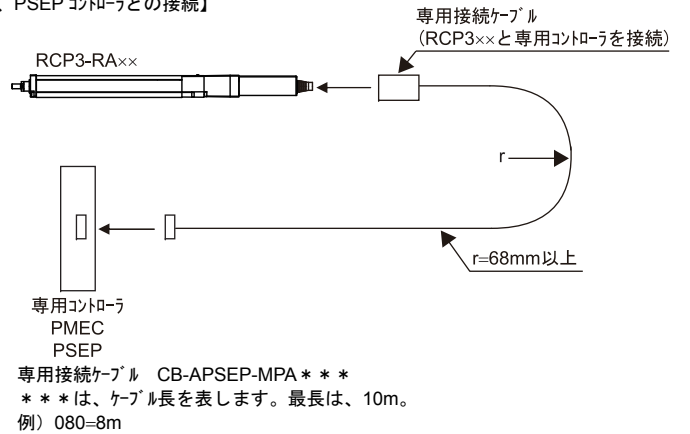


本体は、3面が取り付け固定可能な構造となっています。

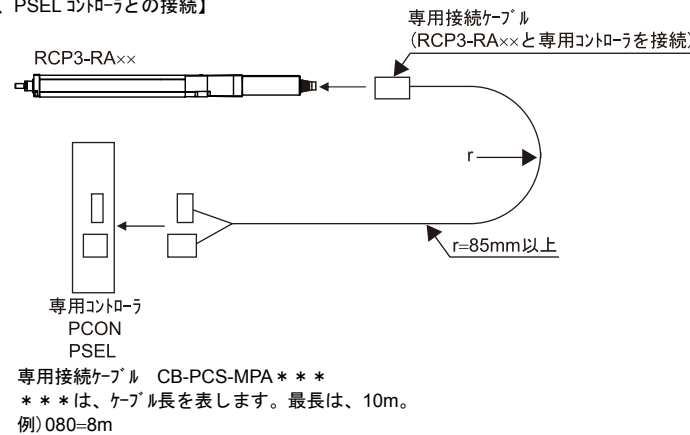
コントローラは、弊社の専用コントローラ以外は使用できません。  
アクチュエータとコントローラとの接続は、付属の専用接続ケーブルをご使用ください。

## 1. RCP3 アクチュエータの接続

モータカップ・リングタイプ RA2AC/RA2BC、モータ折返しタイプ RA2AR/RA2BR  
【PMEC、PSEPコントロールとの接続】



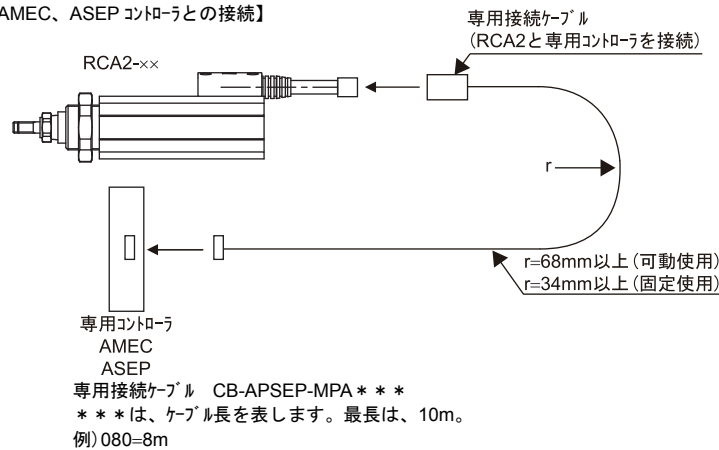
### 【PCON、PSEL コントローラとの接続】



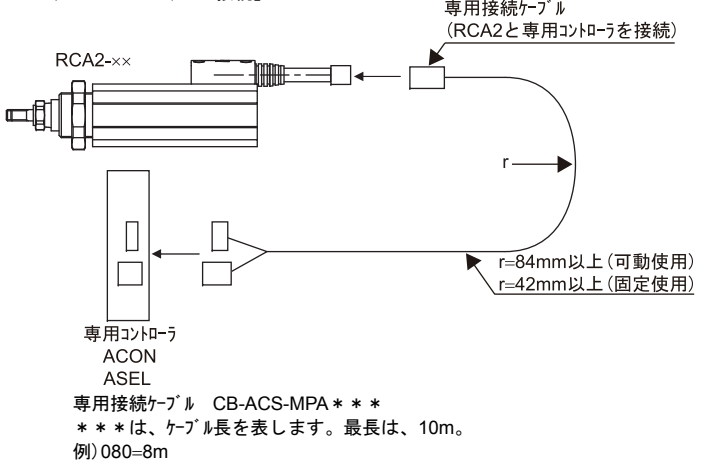
## 2. RCA2 77キエ-77の接続

RN3N/RN4N、RP3N/RP4N、GS3N/GS4N、GD3N/GD4N、SD3N/SD4N

【AMEC、ASEP コントローとの接続】

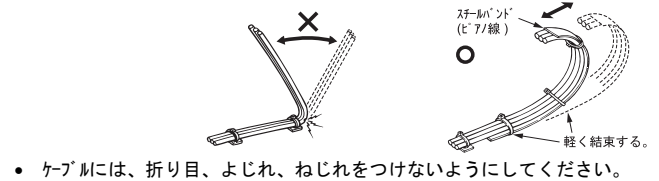


【ACON、ASEL コントローとの接続】

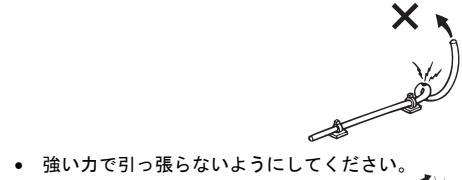


【ケーブル処理方法の禁止事項】

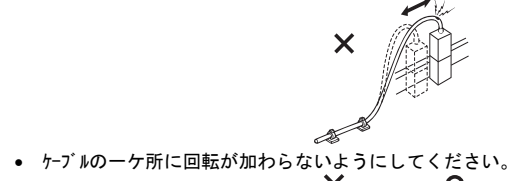
- 接続ケーブルを引張ったり、無理に曲げたりして、加重や引張り力がケーブルに加わらないようにしてください。
- 接続ケーブルは、切断、再結合、他のケーブルと接続して延長、切り詰めなどの加工をしないでください。
- 一ヶ所に屈曲が集中しないようにしてください。



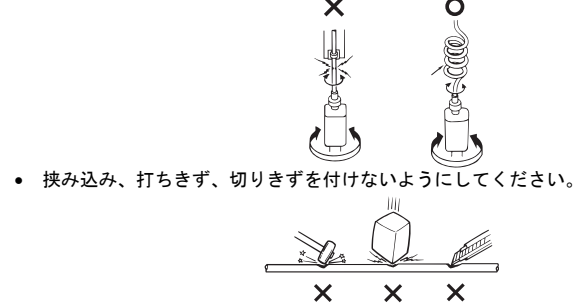
- ケーブルには、折り目、よじれ、ねじれをつけないようにしてください。



- 強い力で引っ張らないようにしてください。

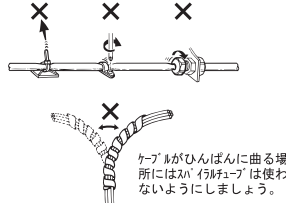


- ケーブルの一ヶ所に回転が加わらないようにしてください。

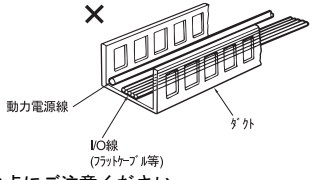


- 挟み込み、打ちきず、切りきずを付けないようにしてください。

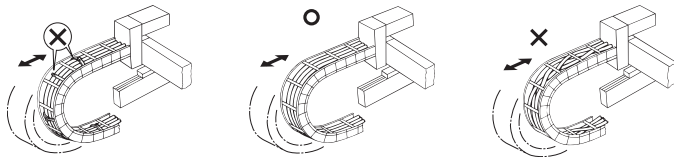
- ケーブルの固定は適度とし、締め付けすぎないようにしてください。



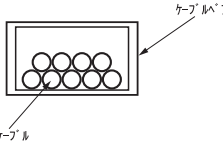
- I/O 線、通信ラインおよび電源・動力線はそれぞれ分離してください。ケーブル内は、混在させないようにしてください。



- ケーブル使用時、次の点にご注意ください。
- ケーブルやフレキシブルケーブル内でカミやジグが無いように、また、ケーブルに自由度が有り結束しないようにしてください。(曲げた時に突っ張らない事)



- ケーブル内に占める収納ケーブル類の容積は 60% 以下にしてください。



注意:

- ケーブルの接続、取外しの際には、必ずコントローラの電源を切って作業を行ってください。電源を入れたまま行くと、77キエ-77が誤動作を起こし重大な人身事故や機械装置の損傷をまねく恐れがあります。
- ケーブルの接続が不十分な場合、77キエ-77が誤動作し危険です。必ずケーブルが正常に接続されていることを確認してください。

# 株式会社 アイエイアイ

本社・工場	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-5105 FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014 東京都港区芝 3-24-7 芝エクセージビルディング 4F	TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 2-5-3 堂島 TSS ビル 4F	TEL 06-6457-1171 FAX 06-6457-1185
名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄 5-28-12 名古屋若宮ビル 8F	TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
盛岡営業所	〒020-0062 岩手県盛岡市長田町 6-7 クレ 21 ビル 7F	TEL 019-623-9700 FAX 019-623-9701
仙台営業所	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町 14-15 アミ・グランデ二日町 4F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082 新潟県長岡市千歳 3-5-17 センザビル 2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 5-1-16 ルーセントビル 3F	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0847 埼玉県熊谷市龍原南 1 丁目 312 番地あかりビル 5F	TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
茨城営業所	〒300-1207 茨城県牛久市ひたち野東 5-3-2 ひたち野うしく池田ビル 2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
多摩営業所	〒190-0023 東京都立川市柴崎町 3-14-2BOSEN ビル 2F	TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 1-10-6 シャンロック石井ビル 3F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0877 長野県松本市沢村 2-15-23 昭和開発ビル 2 F	TEL 0263-37-5160 FAX 0263-37-5161
甲府営業所	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内 2-12-1 ミサトビル 3 F	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636
静岡営業所	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-6293 FAX 054-364-2589
浜松営業所	〒430-0936 静岡県浜松市中区大工町 125 大発地所ビルディング 7F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
豊田営業所	〒446-0056 愛知県豊城市三河安城町 1-9-2 第二東洋ビル 3F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
金沢営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念 3-1-32 西清ビル A 棟 2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
京都営業所	〒612-8401 京都市伏見区深草下川原町 22-11 市川ビル 3 F	TEL 075-646-0757 FAX 075-646-0758
兵庫営業所	〒673-0898 兵庫県明石市樽屋町 8 番 34 号大同生命明石ビル 8F	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6339
岡山営業所	〒700-0973 岡山市北区下中野 311-114 OMOTO-ROOT BLD. 101	TEL 086-805-2611 FAX 086-244-6767
広島営業所	〒730-0802 広島市中区本川町 2-1-9 日宝本川町ビル 5F	TEL 082-532-1750 FAX 082-532-1751
松山営業所	〒790-0905 愛媛県松山市椿味 4-9-22 フォーレスト 21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-13-21 エフビル WING 7F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
大分出張所	〒870-0823 大分県大分市東大進 1-11-1 タンネンバウム Ⅲ 2F	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746
熊本営業所	〒862-0954 熊本県熊本市神水 1-38-33 幸山ビル 1F	TEL 096-386-5210 FAX 096-386-5112

お問い合わせ先

アイエイアイ お客様センター エイト

(受付時間) 月～金 24 時間 (月 7 : 00AM～金 翌朝 7 : 00AM)  
土、日、祝日 9 : 00AM～5 : 00PM  
(年末年始を除く)

フリー  
コール 0800-888-0088

FAX : 0800-888-0099 (通話料無料)

ホームページアドレス <http://www.iai-robot.co.jp>

管理番号 : MJ3677-6A